

南アルプス市役所

南アルプス市の「カーボン・オフセット農産物」の取組み

南アルプス市の主要農産物である「トマト」「さくらんぼ」「シンビジューム」にJ-VERを付与し、カーボン・オフセット商品として販売を行い、購入者の日常生活に伴うCO2排出量をオフセットする取組である。



取組の概要

トマトについては1個あたり、さくらんぼについては1パックあたり、シンビジュームについては1鉢あたりそれぞれ5kgのクレジットを付加している。これは一人1日あたりに日常生活から排出されるCO₂の大部分にあたることから、消費者にどれくらいのCO₂を毎日排出しているのかを認知してもらう効果が期待できる。

オフセットの分類	自己活動型	認証取得(制度名)	カーボン・オフセット認証
----------	-------	-----------	--------------

取組の実施時期	①トマト: 2011年11月25日～2013年10月30日 ②さくらんぼ③シンビジューム: 2012年3月1日～2013年2月28日
---------	---

クレジット	クレジットの種類	J-VER
	プロジェクトの種類	排出削減系
	プロジェクトの名称	①高知県木質資源活用エネルギー事業B、②③山梨県南アルプス市 小水力発電導入による温室効果ガス削減事業
	プロジェクト実施地	①高知県、②③山梨県

オフセット量	①25tCO ₂ 、②11.5tCO ₂ 、③7.5tCO ₂ 、合計: 44tCO ₂
--------	--

無効化日	①2010年10月28日、②③2011年1月20日
------	---------------------------

販売数、参加者数等	①5,000個②2,300個③1,500個
-----------	-----------------------

価格、参加費、クレジット費用の負担	
-------------------	--

オフセット・プロバイダー	三菱UFJリース株式会社
--------------	--------------

オフセットの対象範囲 及び GHG排出量の算定方法	GHG排出量の削減努力
①購入者の日常生活に伴うCO ₂ 排出量: 5.67kg ②③購入者の日常生活に伴うCO ₂ 排出量: 5.56kg 家庭から排出される一人あたりの年間CO ₂ 排出量から一人一日あたりのCO ₂ 排出量(電気・燃料・廃棄物・水道)を算出した。	カーボン・オフセットの対象とする農産物については、通常ハウス栽培において加温に使用されている重油等の化石燃料を木質ペレット(木質バイオマス)に代替することによりCO ₂ の削減をはかっている。

取組んだことによるメリット・良かった点	取り組む際に工夫した点・苦労した点
南アルプス市の基幹産業である農業や農産物、市の温室効果ガス削減の取り組みを広く周知することができた。また、この取り組みを通じて、南アルプス市環境考慮型農産物として新たな販路開拓にも繋がった。	カーボン・オフセット制度を活用し、単なる「温暖化対策」だけでなく、農業の活性化、農産物の差別化といった「地域が抱える課題」と組み合わせることで事業を展開した。市内の農産物に市が創出したJ-VERを付加したカーボン・オフセットを展開し、市内に資金が還流する仕組みとした。

【問い合わせ先】 住友林業株式会社 コーポレート・コミュニケーション室 住宅企画部	TEL: 03-3214-2220(代表) ウェブページ: http://kikorin.jp/pje/
--	--